

しにせ 老舗メルマガ

国際派日本人養成講座

伊勢雅臣

中国に戦わずして勝つ道

北野幸伯『中国に勝つ日本の大戦略』を読む

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

(ニッケイ新聞編集部)

1. 国際政治で次々と予測を当ててきた秘密

この2つの目的設定に、北野氏の戦略思想家としての深みがよく窺える。というのは、何事も欲得づくの中国は勝ち目がない戦いは仕掛けない。したがって戦争になっても日本が勝てる道を示せば、第一の「日中戦争(実際の戦闘を回避)する確率も高まる。これが日本にとって最上の「中国に戦わずして勝つ道」である。詳細は、この本を読んでもらうとして、ここではその呼び水として「同盟」の意味について考えてみたい。「中国に勝つ」日本の大戦略の柱は「同盟戦略」にあるからである。

2. 各国の同盟国を増やすための虚々実々の駆け引き

本書の前半で、氏は中国の「反日統一共同戦線戦略」がどのように生まれたのか、それを安倍総理がどのように打ち砕いたのか、を俯瞰する。いつもながらテンポの良い北野節で、国際政治上の事件の背景に、各国の思惑がどうぶつかり合っており、どんな結果を生んだのか、を示している。目からウロコの連続だ。例えば習近平が打ち上げた「アジアインフラ投資銀行(AIIB)」。アメリカの緊密な同盟国であるイギリスが、アメリカの制止を無視して、AIIBに参加することを決めた。「イギリスが入るのなら、私も参加する」と決めた。イギリスが参入するのなら、私も参加する」と決めた。イギリスが参入するのなら、私も参加する」と決めた。

3. 「こんなもん、勝てるはずがない」

「同盟関係は自国の軍力より重要なのだ」とは、国際的に有名な戦略家エドワード・ルトワックの言葉である。北野氏は先の大戦で日本が負けたのも同盟戦略の失敗にあった、と指摘する。

私が注目したのは1941年に始まった「太平洋戦争」より前、1937年にはじまった「日中戦争」でした。この戦争、中国はアメリカ、イギリス、ソ連から支援を受け、日本と戦っています。つまり、事実上、日本 vs アメリカ、イギリス、ソ連、中国の戦いである。私は、率直に思いました。「こんなもん、勝てるはずがない」。「1、P 210」

「戦闘」では、日本軍は蒋介石軍も共産党軍も圧倒し、連戦連勝だった。1937年7月7日、北京郊外の盧溝橋で何者かの銃撃により始まった衝突から、わずか5ヶ月後の12月13日には首都南京を攻略したが、蒋介石は重慶に移って抵抗を続けた。米英ソからの軍事支援があったからである。

4. 「アメリカは激怒しました」

激怒しました

日露戦争ではわが国は日英同盟によってイギリスから多大な支援を受けた。またアメリカの好意的な仲介により、絶妙のタイミングで講和ができた。1905年に結ばれたアメリカとの桂・タクト協定で

「極東の平和は、日本、アメリカ、イギリス3国による事実上の同盟によって守られるべきである」と定められていた。それがいつか「日米関係はおかしくなったのか?」北野氏は「桂・ハリマン協定破棄」がきっかけである、と指摘する。ハリマンはアメリカの鉄道王。日露戦争直後に来日して、ポーツマス条約によってロシアから日本に譲渡された民間南満州鉄道の共同経営を要求した。日本側もこれには乗り気で、「桂・ハリマン協定(仮条約)」が結ばれた。渡部昇一はこの協定に関して、こう指摘している。

明治維新の元勳たちは直感的に、ハリマンの提案をいい考えだと言いました。日露戦争でカネを使っただけ、北にはロシアの大量がある。これらの条件を勘案すれば、満州の鉄道経営を日本だけでやるというのは無理があり、アメリカを入れておいた方がいいと考案した。「1、P 214」

ところが、この協定を日本政府は破棄してしまう。北野氏はアメリカから見た状況を次のように描写する。南満州鉄道共同経営は、中国や満州への進出を目指すアメリカにとっても、非常に重要なものでした。ところが、小村寿太郎外相(1855~1911)などがこれに強く反対し、結局日本側は「桂・ハリマン協定」を破棄します。アメリカは、「日本に多額の資金を援助し、ロシアに勝つなら満州利権に入り込める!」と目論見だった。

しかし、日本は「満州の利権にアメリカは入れないよ!」と拒否したので。アメリカは激怒しました。こうして日本はアメリカを敵に回すハメとなった。アメリカはわずか2年後の1907年には日露戦争計画「オレンジ・プラン」の策定を始める。北野氏は言う。

何ともあれ、日本は、日露戦争時多額の資金援助と平和の仲介をしてくれたアメリカの恩に報いなければ、アメリカの国益を尊重しなかった。「1、P 215」

アメリカの国益に鈍感だったことが、アメリカを敵に回すことになったのである。イギリスとの関係悪化は、第一次大戦で日本が地中海に艦隊を派遣したものの、陸軍派兵要求を拒否し続けたことが原因、と北野氏は指摘している。たとえば、駐日イギリス海軍武官エドワード・H・ライマー大佐はこう発言している。

我々が強い態度で状況を明確に説明し、イギリスが過去に日本を援助したが、同盟国として何をなすべきかを明確に説明し、同盟国としての義務に耐えるべきであると強く示唆すると、日本人は我々から離れてしまう。「1、P 219」

イギリスは日本にたいく失望した。大戦中の1917年3月、大英帝国国議会で配布された「日英関係に関する覚書」では「日本人は狂信的な愛国心、国家的侵略性、個人的残忍性、基本的に偽りに満ちており、日本は本質的に侵略的な国家である」と書かれていた。

第一次大戦の結果、イギリスは「日英同盟破棄」を決定します。それはかなりではありません。大戦時イギリスを救ってくれたアメリカと急速に接近していた。米英はこの時から、「日本をいつか叩きつぶしてやる」と決意し、「ゆづり殺し」にしようとしたのです。

日本は、日露戦争直後と、第一次大戦時の対応で米英を敵にまわし、「敗戦への道」を歩みはじめていた。たまたま「1、P 221」

もし日本が米英の要求に応じて「極東の平和は、日本、アメリカ、イギリス3国による事実上の同盟によって守られるべきである」との桂・タクト協定を維持していたら、どのような未来が待っていたらうか? 中国での権益はイギリスと、満洲での権益はアメリカと共同で守っていたら、ソ連や中国共産党のつげ入る隙はなかった。蒋介石も米英の後ろ盾がなければ、日本との友好を図る以外道はなかった。となれば日中戦争はなく、中国大陸の共産化もなかったらう。それは中国人民のみならず、周辺諸国にとっても大きな福音であったはずだ。

確かに、大東亜戦争が起これなければ、アジア諸国の独立はもと遅れたであろう。しかし日本の統治下で、台湾や朝鮮、さらには満洲が高度成長を続けることで、アジア各民族が自覚め、もう少しマイルドな形で自治権を獲得していったかもしれない。そのような道を日本は失ってしまったのである。われわれ自身、同盟戦略の失敗による。

こういう議論に接すると、我々日本人は国際政治における同盟関係というものが、本当には分かっていないのではないかと、という気がする。礼節と思いやり、信頼感に満ちた日本社会で暮らしている日本人は、国際社会の群雄割拠の中で、それぞれが国益を追求し、出し抜いたり、欺し合ったりするような関係には慣れない。現代の国際社会における同盟のあり方を考えるには、戦国時代の方が参考になるだろう。弊誌「1036号」で紹介した世界的な戦略家エドワード・ルトワックは「家康は、人類史上でも稀に見る最高レベルの戦略家だった」と述べている。「1、145-8」

天正7(1579)年、家康は信長から正室・築山殿と美子・信康が武田氏に内通している事を疑われ、ために築山殿を斬殺し、信康を切腹させるという処置に迫られた。これを耐え忍んで、信長との同盟関係を優先させたことから、家康の未来が開けていった。

関ヶ原の戦いにおいては福島正則や黒田長政など豊臣恩顧の武将を味方に引き入れ、また小早川秀秋に西軍を裏切りさせて、勝利している。「最高レベルの戦略家」は同盟の達人であった。家康から同盟に関して学べる事は、次の2点であろう。

嫌な相手、悪辣な相手とも同盟を結まなければならぬ場合がある。ときにはその相手に隷従しなければならぬ事もある。同盟は好き嫌いや善悪ではなく、勝敗の問題だからである。敵の中にも味方がおり、味方の中にも敵がいる。常に相手の利益を考えながら、味方を維持し、増やし、いかなければならない。

8. 「善悪論」から「勝敗論へ」

家康が教えていることは、北野氏が「善悪論」から「勝敗論へ」と主張していることにつながるといえる。同盟の相手は、「善悪」で選ぶのではなく、「勝敗」で選ぶなければならない。

そこから、北野氏は、北方領土を奪ったロシアや、慰安婦問題で世界中にアロパガンダをまき散らしている韓国を同盟国とすべきかどうかについても議論している。「中国に勝つ」日本の大戦略は「中国に深い思索から生まれてきている。」「あがき」で、氏はこう言う。

7. 同盟の達人・家康から学ぶこと

日本も、強大な中国に勝ち、100年、200年一貫性

のある言動を取り続ける必要があります。「1、P 316」

そのためには、この「中国に勝つ」日本の大戦略」を実行する安定した長期政権が必要であり、多くの国民がこの戦略を国民的合意として支持していくことが不可欠なのである。

【参考文献】

1. 北野幸伯『中国に勝つ』扶桑社、H29
2. 北野幸伯『ポロポロになった覇権国家(アメリカ)』風雲社、H17
3. 北野幸伯『中国・ロシア同盟がアメリカを滅ぼす日』草思社、H19
4. 北野幸伯『隸属国家 日本を救う』H20
5. 北野幸伯『プーチン最後の聖戦』集英社インターナショナル、H24
6. 北野幸伯『日本人の知らない「クレムリン・メソッド」』世界を動かすターナショナル、H26
7. 北野幸伯『日本自立のためのプーチン最強講義』集英社インターナショナル、H25
8. エドワード・ルトワック『戦争にチャンスを与えよ』(Kindle版) 文春新書、H29

『日本文化』5巻まで同時購入で 35%OFF 割引!!!

195円が160円に

ニッケイ新聞で好評連載中の「国際派日本人養成講座」を中心に

日本独自の文化や歴史を 日ポ両語で紹介!

日本文化1 RS35,00 日本文化2 RS40,00 日本文化3 RS40,00 日本文化4 RS40,00 日本文化5 RS40,00

お孫さんへのクリスマスプレゼントに!

お問い合わせ先 詳細はニッケイ新聞社編集部まで ☎(11-3340-6060) 日系書店でも販売中! 地方発送も出来ます!

太陽堂 (11-3208-9588) フォノマギ竹内書店 (11-3104-3399) 高野書店 (11-3209-3313) DMARTY SHIP-SANTO ANDRE (11-4472-4532)

景況感11年ぶり高水準

日銀短観、5期連続改善 大企業製造業プラス25

【共同】日銀が15日発表した12月の企業短期経済観測調査(短観)は、大企業製造業の景況感を示す景況判断指数(DI)がプラス25となり、リーマン・ショック前の2006年12月調査(プラス25)以来、11年ぶりの高い水準となった。前回の9月から3ポイント上昇し5四半期連続で改善した。好調な海外経済を背景に、輸出が伸びて企業の前向きな姿勢が強まった。

輸出堅調、先行き警戒

先行きは米政権運営や北朝鮮情勢の不透明感を警戒し、6ポイント下落のプラス19と悪化を見込んだ。景況感の5期連続の改善は13年3月と14年3月以来の約4年ぶりだが、家計ではその恩恵を実感しにくいとの声は多い。経済の好循環に向け18年春闘での賃上げが鍵となりそうだ。

違法天下り5府省庁6件 追跡調査で監視委認定

【共同】国家公務員の天下り問題の追跡調査で、内閣府の再就職等監視委員会が5府省庁6件の違法事実を認定した。認定されたのは、文部科学省、国土交通省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省の各府省庁が関係職員を処分する見通しだ。

デイズニーが6兆円買収

20世紀フォックスを傘下に

【ニューヨーク共同】米娯楽・メディア大手のウォルト・ディズニーストックの21世紀フォックスの買収が約5兆2400億ドル(約5兆9千億円)で買収されると発表された。負債込みで総額6兆6100億ドルに達する。映画やテレビ番組の制作といった事業が含まれる。21世紀フォックス傘下でハリウッドの最大映画制作会社である20世紀フォックスがディズニーストックグループに入る。映像コンテンツの拡充でインターネット動画配信事業を強化し、ディズニーストックの米映画市場の3割程度を占めることになり、米当局が買収を承認するかどうかが当面の焦点だ。ディズニーストックの最高経営責任者(CEO)は「エンターテインメントの多様性を求める消費者の需要に応え、21世紀フォックスのさまざまな作品群を手にした」と説明した。20世紀フォックスの作品には「サウンド・オブ・ミュージック」(1965年)、「タイタニック」(1997年)、「アバター」(2009年)などがある。

米映画市場の3割占める

人工知能が惑星を発見 観測データ分析 NASA

【ワシントン共同】米航空宇宙局(NASA)は14日、米IT大手グーグルが開発した人工知能(AI)の助けを借りて、新たに2つの太陽系外惑星を発見したと発表した。AIを活用して見つけた初めての惑星だとしている。



恒星「ケプラー90」(左端)と惑星の想像図。8個の惑星の左から3番目が新たに発見された惑星(NASA提供・共同)

だが、影が薄い場合は判断が難しい。AIは過去の大量の観測データを教材にして、惑星が作る影を見分けることを学習。新たにAIが惑星と判断した2つの影を人間の影と判別できなかった。今回の発見で、ケプラー90は8個の惑星を持つことになり、判別範囲は太陽と並ぶ最も新しい惑星。地球よりやや大きく、内側から数えて3番目で、ケプラー90の周りを14日かけて回る。表面温度は430度近いと推定された。

【共同】俳諧師、画家の与謝蕪村(1716〜1803年)が別名で詠み、これまでに知られていなかった記号8句を含む14日までに見つけた。米メディアによると、米メディアによる買収を巡っては、米メディア・娯楽大手コムキャストや、米通信大手ベライゾン・コミュニケーションズ、ソニーも関心を示し、21世紀フォックス側に非公式で接触するなどしていた。

【共同】俳諧師、画家の与謝蕪村(1716〜1803年)が別名で詠み、これまでに知られていなかった記号8句を含む14日までに見つけた。米メディアによると、米メディアによる買収を巡っては、米メディア・娯楽大手コムキャストや、米通信大手ベライゾン・コミュニケーションズ、ソニーも関心を示し、21世紀フォックス側に非公式で接触するなどしていた。

【共同】俳諧師、画家の与謝蕪村(1716〜1803年)が別名で詠み、これまでに知られていなかった記号8句を含む14日までに見つけた。米メディアによると、米メディアによる買収を巡っては、米メディア・娯楽大手コムキャストや、米通信大手ベライゾン・コミュニケーションズ、ソニーも関心を示し、21世紀フォックス側に非公式で接触するなどしていた。

Shiatsu 指圧・整体・鍼灸で
腰痛ヒザの痛み、首の痛み、
坐骨神経の痛み
Prof. Minoru Kohakura
Tel: (11) 3262-0835
Av. Paulista, 509 Sala 7 (メトロ・ブリガデイロ近く)

a kenko hirose
健康食品
プロボリス・アガリクス専門店
Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo
Tel: (11) 3271-5608

プロボリス専門店
ムラサン健康食品
MURASAN PRODUTOS NATURAIS
Rua Galvão Bueno, 364 - box 3 - Liberdade - SP
Tel./Fax: (11) 3207-4490

スーツ・フレーザー・ゴルフスポン
注文仕立英伊国服地
紳士服・婦人服リフォーム
MIZUHO Tailor & Fashion
丸山四H会 (東京)
TEL: 3082-4408 (アウグスタ街2212)

レジストロ産手摘み紅茶
「おばあ茶ん」
100g R\$ 45,00
ニッケイ新聞編集部にて
好評発売中!!

CLÍNICA MÉDICA ORIENTAL NAKATA
Admite-se estagiário(a)
研修生募集中 (男女)
和泉整体 法で
SADAKAZU NAKATA PhD
CIÊNCIAS ALIADAS DA SAÚDE
TEL: (11) 5571-4113 / (11) 5083-6756
Rua Baltazar Lisboa, 391 - CEP 04110-061 - V.Mariana - São Paulo - SP

NEOVISIE 中野眼科クリニック
Oftalmologia - Dra. Mayumi Nakano CRM 94.110
Rua Machado Bittencourt, 205 cj 93
São Paulo - Metrô Santa Cruz
Tel: (11) 5080 3777
5548 7802
近視と乱視の手術
トラスカスレーザー
白内障手術専門チーム
スペシャリスト
プレミアム院内レンズ
目と目の健康のCheck up
もご利用下さい!

自然と繋がる神職者

沖縄伝統のかみんちゆ 「あなたを探しに来た」

沖縄県伝統の神職者「かみんちゆ（神人）」が聖地で活動している。2000年に沖縄県の神人に呼ばれ、修行を積んだ長浜ベアトリスさん（49、三世）だ。現在は伯国をほじめるルーやポリビアなど他南米諸国の人々に「拝み」のやり方を教えたり、人生相談を受けている。

石を通して神と対話



長浜さん

長浜さんは神人になる以前、家族と共に子供服専門店を経営していた。そこに沖縄の神人が「あなたを探しに来た」と突如、長浜さんと家族は驚きつつも納得してしまっ

たそう。生まれた頃から誰もいない場所を「誰かいる」と指差したり、理由もなく突発的に怒り、泣き出す長浜さんに手を焼いていた母は、様々な宗教団体の祈禱師の元で連れて

二人一緒に沖縄県に渡り、聖地訪問や先生のウガン（拝み、御願い）に同行して経験を積んだ。長浜さんが一度、ユタと神人の違いがわからず「ユタ」を自称した際、先生に「あなたはユタではなく神人だ」と呼ばれた。ユタと「神人」が一緒にされることあるが「ユタは霊媒師、神人は神職者」と中身は全く違うらしい。

「ユタ」を自称する人の中には霊能力を持たないのに仕事をし、多額の報酬を受け取る詐欺を働くケースもあり、扱いが難しい話らしい。「本物は報酬を要求せず、客からのお布施で活動をしている」とのこと。

「日本の歴史」講座、最終回迎え

今年3月に始まった「日本の歴史」についての連続講座が10日に最終回を迎えた。ブラジル漫画協会の（佐藤）フランシスコ（下川）会長と三重県人会（下川）会長の共催で、金沢大学の教授が動画で講座に参加したり、ブラジル被爆者協会から講演者をお呼びなど、意欲的な内容で来場者を引きつけた。出席者の大半が

は「皆様に興味を持って聞いてくれた。日系人でない方も沖縄に興味がある事が分かりました」と語った。講義の後、三重県人会の下川会長、村田美代子さん、金沢大学の松田真希子准教授が参加し、前述の92人に精進賞が贈られた。また、会場の準備や受付の手伝いをしたボランティアに感謝状が渡された。

佐藤会長はこれまでの講座を振り返り、「日系社会の皆様と日本の友達や先生の応援の言葉に支えられて最後まで続けた」とし、「参加者から

「来年も必ず続けて欲しい」という声があり、余り休む暇も無く再開する予定です」とした。

来年以降の講座については、「9月のテーマは江戸幕末だったので、高知県のよきこい節を紹介し、ブラジル高知県人会の青年部が踊った。来年はもっと色んな日系団体の紹介すること、日本から来たボランティア活動者に登壇してもらうこと、考えている。日伯の文化交流がもっと盛んになってほしい」と展望した。

「日本を知らないブラジル人に日本の歴史を教える」という目的のもと、全9回に渡って歴史時代から現代までを解説。聖市の三重県人会で開かれ、毎回200人を超える盛況ぶりだった。同講座にはこれまで金沢大学の教授が動画で講座に参加したり、ブラジル被爆者協会から講演者をお呼びなど、意欲的な内容で来場者を引きつけた。出席者の大半が



最後まで満員だった

「ユタ」を自称する人の中には霊能力を持たないのに仕事をし、多額の報酬を受け取る詐欺を働くケースもあり、扱いが難しい話らしい。「本物は報酬を要求せず、客からのお布施で活動をしている」とのこと。

長浜さんは伯人の環境や人に対する軽率な考えや行動が目立つことに触れ、歴史の浅さを理由として挙げた。「祖先や自然を尊重することが少ない原因。自然をほじめるあらゆる神と対話する神職者として、人々の人生を示し自然や祖先を拝む」と神人としての役割を語った。

サンパウロ日伯援護協会（サンパウロ日伯援護協会）は、日伯友好病院などで使用される枕カバー、シーツなどを縫製するボランティアの謝恩会を、5日、援護本部5階の神内ホールで開催した。同病院設立以前の87年に活動を開始し、その発展を陰ながら支えてきた。

「日本祭りの州立学校展示」に感謝。ラン所長（48）、協力者で元職員の日野寛幸さん（71、福岡県）が来社した。



最後まで満員だった

「日本祭りの州立学校展示」に感謝。ラン所長（48）、協力者で元職員の日野寛幸さん（71、福岡県）が来社した。

「日本祭りの州立学校展示」に感謝。ラン所長（48）、協力者で元職員の日野寛幸さん（71、福岡県）が来社した。

「日本祭りの州立学校展示」に感謝。ラン所長（48）、協力者で元職員の日野寛幸さん（71、福岡県）が来社した。

「日本祭りの州立学校展示」に感謝。ラン所長（48）、協力者で元職員の日野寛幸さん（71、福岡県）が来社した。

本紙のポ語書籍寄贈に感謝

7月の第20回県連日祭りに参加した聖州教育局の史料センター、マリア・コヴァス教育参考センターのマリア・クリスチナ・ノゲロウ・カタ

「日本祭りの州立学校展示」に感謝。ラン所長（48）、協力者で元職員の日野寛幸さん（71、福岡県）が来社した。

「日本祭りの州立学校展示」に感謝。ラン所長（48）、協力者で元職員の日野寛幸さん（71、福岡県）が来社した。

援協ボランティア忘年会

30年に及ぶ奉仕活動を称え、サンパウロ日伯援護協会（サンパウロ日伯援護協会）は、日伯友好病院などで使用される枕カバー、シーツなどを縫製するボランティアの謝恩会を、5日、援護本部5階の神内ホールで開催した。



神内ホールで行われた忘年会

「日本祭りの州立学校展示」に感謝。ラン所長（48）、協力者で元職員の日野寛幸さん（71、福岡県）が来社した。

病氣平癒・健康祈願
南米神宮
R. Estado de Israel, 76
Vl. Clementino - S. Paulo - SP
Fone: (11) 5575-4783
www.templointoista.org.br

改修・改装・内装工事
請け負います
Serviço de reforma e decoração
建築士：YUKIMORI YUKARI
Arquiteta YUKARI FUJIMORI
【連絡先 Contato】 (11)98612-9220
【E-mail】 syfujimori@gmail.com

サンパウロ日伯援護協会
リベルダーデ医療センター
日本語で対応します
受付時間 月～金 07:00～19:00
土 07:00～13:00
人間ドック受付 月～金 07:00～16:00
人間ドック、診察と検査（内科及び各種専門科）、歯科各種健康保健取扱いしています（日本の保健各種）
Adesão de novos associados 新会員募集 (11) 3274-6523
お問合せ: (11) 3274-6555
ご予約 (内科以外の各専門科): (11) 3274-6508
人間ドック: (11) 3274-6495
歯科: (11) 3274-6501
Rua Fagundes, 121 - Liberdade - São Paulo - SP
www.enkyo.org.br

サンパウロ日伯援護協会
日伯友好病院
最新設備と専門スタッフを備えた
日伯友好病院は真心込めた医療を
あなたへお届けします
24時間受付
内科・外科・小児科
整形外科・心臓外科 他
日本語で対応します
各種健康保険取り扱っています
（日本の保健各種）
日伯友好病院行きバスのご案内
地下鉄Tatuapé駅発172X-10
地下鉄Santana駅発271M-10
Dom Pedro II公園発272N-10
Tel.: (11) 2633-2200
Rua Pistoia, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo
www.hospitalnipo.org.br

Os Japoneses e seus Legados
日本人の特質
私達がブラジルのために出来る事とは
日本人の特質を伝承する事である
誠実さや勤勉さは如何にして、生まれたか
ポルトガル語でわかりやすく解説
子孫繁栄に欠かせぬ一冊
販売価格 R\$ 20
二文芸・新聞・雑誌部
詳しくはニッケイ新聞社編集部まで
電話 (11) 3340-6060

年末・年始 営業時間のお知らせ
【12月26日～28日】通常通り
【12月29日～1月2日】休業
* 18年1月3日より通常通り
なお、17年度の新新聞発行は12月27日付まで、
新年特集号は12月28日に聖州市内、地方
(TRANSFOLHA 担当) に配布する予定です。
ニッケイ新聞社 営業部
AVISO do EXPEDIENTE de FIM DE ANO
Nikkei Shimbun - Administração
26 a 28/12/17 - Expediente Normal
29/12/17 a 02/01/18 - Folgamos
27/12/17 - Última Publicação do Ano
28/12/17 - Distribuição da
Edição Especial de Ano Novo
A partir de 03/01/17 - Expediente Normal

Economia (14/12/2017)

Governo do Japão prevê crescimento de 1,8% para o PIB do país em 2018

O governo do Japão está para divulgar previsão de crescimento econômico em torno de 1,8% para o próximo ano fiscal, que começa em abril.

O sólido índice de 1,8% — descontada a variação de preços — vai representar um aumento de 0,4 ponto percentual em

relação à previsão anterior, que foi divulgada em julho. É provável que o crescimento nominal do PIB seja projetado para em torno de 2,5%.

Empresas do setor de exportação exibem uma elevação contínua do seu faturamento que resulta do crescimento econômico

global.

Também está previsto um aumento dos gastos do consumidor. Um novo sistema tributário a entrar em vigor no próximo ano fiscal deverá encorajar aumentos salariais e novos investimentos em fábricas e equipamentos pelas empresas.

O governo japonês vai levar em conta a previsão de crescimento econômico para estimar o volume de arrecadação de impostos. A previsão também será usada na elaboração do projeto orçamentário para 2018, que o governo espera finalizar este mês.

Okinawa (13/12/2017)

Janela de helicóptero americano cai em escola de Okinawa

Uma janela de um helicóptero militar dos Estados Unidos caiu no pátio de uma escola primária de Okinawa, província sulina do Japão.

O helicóptero de tipo CH-53 estava sobrevoando a Escola Primária Futenma 2, na cidade de Ginowan, quando o incidente aconteceu, na manhã de quarta-feira. A escola está situada

próxima da Base Aérea de Futenma do Corpo de Fuzileiros Navais dos Estados Unidos, onde o helicóptero fica estacionado. O conselho educativo da cidade disse que cerca de 50 estudantes, se encontravam no campo, na ocasião. Disse ainda que um deles foi atingido no braço por um objeto que caiu. O conselho posteriormente

confirmou que o estudante não ficou ferido.

Segundo a polícia, a janela caía média cerca de 90 cm de extensão e 85 cm de altura, pesando cerca de 7,7 kg. A janela teria caído a cerca de 10 metros das crianças.

Os Fuzileiros Navais dos Estados Unidos no Japão emitiram uma declaração admitindo o acidente, que

segundo eles teve lugar às 10h09 minutos da manhã. A declaração afirma que o incidente está sendo considerado bem seriamente e uma investigação está em andamento. Eles também ofereceram desculpas aos residentes locais e pede que fiquem fora do local para sua própria segurança.

Comentário (13/12/2017)

Introdução de penalização para a pesca excessiva do atum no Japão

Um acordo mundial limita a quantidade de atum azul pescado no Oceano Pacífico por cada país e região. Sob tal acordo, o total pescado pelo Japão até junho, final da última temporada de pesca, ultrapassa sua cota. Há ainda preocupações de que o país voltará a ultrapassar a quantidade máxima na atual temporada. Tal fato

levou a comunidade internacional a observar de perto o Japão, maior consumidor de atum azul no mundo.

Tendo isso em consideração, o governo japonês introduziu o sistema de limite máximo de pesca autorizada (TAC, na sigla em inglês) que limita a atividade. No comentário de hoje, conversamos

com Masayuki Komatsu, pesquisador sênior da Fundação Tóquio e especialista em negociações internacionais de pesca. Perguntamos a ele se o sistema TAC será efetivo no gerenciamento da cota pesqueira.

“Até agora, limites autônomos eram utilizados. Mesmo que houvesse um número determinando quantas toneladas poderiam ser pescadas, muitas operadoras do setor faziam capturas acima do limite. Recentemente, uma operadora em Hokkaido pescou mais de 500 toneladas de atum azul do Pacífico usando redes fixas. Trata-se de número 10 vezes a cota. Mesmo assim, a operadora não sofreu nenhuma punição.

Acredito que a recente introdução do sistema TAC seja um passo à frente, pois ela cria estruturas legais que precisam ser respeitadas. No entanto, também deveriam constar nas punições o confisco da embarcação pesqueira ou da licença de pesca, que não foram incluídas na lista. Outra questão é o fato de que não se sabe bem o total de atum azul do Pacífico que está sendo pesca-

do. Operadoras de pesca no Japão não precisam declarar o volume capturado e não há terceiros verificando tais dados. Por esta razão, é altamente questionável que se possa criar um sistema viável de regulação com base nos dados atuais, que são imprecisos.

No momento, segundo padrões internacionais, a população de atum azul do Pacífico caiu para um nível em que toda a pesca deveria ser interrompida. Todas as capturas deveriam ser interrompidas por um período de 3 a 5 anos para que a população possa se recuperar efetivamente. No entanto, como o atum azul é uma importante espécie para o Japão, o governo decidiu tomar medidas a longo prazo, sem suspender sua pesca.

Neste caso, o governo deveria informar o consumidor geral sobre como as medidas introduzidas vão levar ao crescimento da população do atum azul do Pacífico. Porém, isso também não foi feito. A estrutura introduzida deixa aberta a possibilidade de que a situação se deteriore. Isso dá a impressão de que ainda há muito a ser feito.”

Coreia do Norte (14/12/2017)

Japão registra maior número de barcos norte-coreanos em suas águas desde 2013

A Guarda Costeira do Japão informou que o número de prováveis embarcações da Coreia do Norte encontradas em 2017 foi o maior dos últimos 5 anos. Oitenta e três barcos de madeira foram encontrados encalhados ou à deriva próximos à costa japonesa desde o início do ano.

Na quarta-feira, autoridades encontraram a mais recente embarcação, com dois corpos a bordo. Eles tinham distintivos mostrando o ex-líder norte-coreano Kim Jong Il. A maioria dos barcos encontrados neste ano estavam vazios. Entretanto, um total de 42 pessoas foram encontradas vivas e 19 mortas.

Um número acima do normal de barcos da Coreia do Norte adentraram na zona econômica exclusiva do Japão nos últimos meses.

Acredita-se que Pyongyang está enviando pescadores para as águas japonesas devido a dificuldades financeiras causadas por sanções internacionais.

Autoridades também mencionaram o mar bravo como outro fator possível. A Guarda Costeira do Japão diz que está ampliando suas patrulhas.

em 2017 foi o maior dos últimos 5 anos.

Oitenta e três barcos de madeira foram encontrados encalhados ou à deriva próximos à costa japonesa desde o início do ano.

Na quarta-feira, autoridades encontraram a mais recente embarcação, com dois corpos a bordo. Eles tinham distintivos mostrando o ex-líder norte-coreano Kim Jong Il.

A maioria dos barcos encontrados neste ano estavam vazios. Entretanto, um total de 42 pessoas foram encontradas vivas e 19 mortas.

Um número acima do normal de barcos da Coreia do Norte adentraram na zona econômica exclusiva do Japão nos últimos meses. Acredita-se que Pyongyang está enviando pescadores para as águas japonesas devido a dificuldades financeiras causadas por sanções internacionais.

Autoridades também mencionaram o mar bravo como outro fator possível. A Guarda Costeira do Japão diz que está ampliando suas patrulhas.



Estas notícias são produzidas pela
NHK WORLD RÁDIO JAPÃO.
nhk.jp/portuguese

Aplicativos gratuitos da
NHK WORLD

Rádio em português da NHK
a qualquer hora em qualquer lugar!

NHK WORLD RADIO JAPAN

*Para iOS e Android



Transmissão ao vivo em português e outros 16 idiomas

Clipes de áudio de últimos noticiários e programas